

新型 菊半裁枚葉印刷機 DAIYA-1 F

当社三原製作所では国内外で好評を得ている DAIYA-1 F シリーズをフルモデルチェンジし、性能・機能共にグレードアップを図り、国際印刷展示会 IGAS'93 (東京晴海) に出展するとともに発売を開始したので仕様と特長について紹介する。

1. 主要諸元

図1に外観を、表1に主要諸元を示す。

2. 特長

(1) 印刷部

版面への湿し水供給パターンを絵柄によってワンタッチで選べる新開発のマルチモードダンプニングシステムを採用。高画線印刷はもちろん、あらゆる高級印刷物に対応可能としている。図2に各運転モードを示す。

(2) 給紙部・排紙部

Gシリーズ (15 000 枚/h) で好評を得ている高性能セパレータ及び給紙装置の基本性能を全面的に採用し、余裕を持たせた設計としている。

排紙部についても給紙部と同様にGシリーズの設計思想を採り入れ、高速印刷における紙そろえの安定性向上を図っている。

(3) 自動刷版交換装置 (SPC)

'88に世界初登場させて以来、多くのユーザから好評を得ている SPC をより使いやすく、また信頼性を高める改良を施し採用している。

(4) AIレジスタシステム (色間見当自動修正装置)

新開発の AI レジスタシステムは今まで経験を要したスミ・アイ・アカ・キの見当合せ作業を色の識別機能を持つ人工頭脳センサ (AI センサ) によりスキルレスで、かつ瞬時に行うことを可能にしている。

(5) 制御システム

印刷機の各種制御にデジタル多重伝送システムを採用し、各装置の制御はもちろん、オペレータと機械とのコミュニケーションもデジタル化している。このため従来機に比べてより多くの印刷機情報を得ることができる。

印刷機全体に対して、スリム化とコンパクト化を図るとともに各印刷ユニットの操作パネル及び給紙部操作パネルにも操作性重視の新デザインを採用している。

(6) メインテナンス性

機械の点検及びメインテナンス時間の短縮を図るため、各印刷ユニットの機械ボックスカバーはワンタッチ開閉式を採用している。

以上、新シリーズの概要を紹介したがこのほかにも多くの改良を加えており、従来にも増して高品質・高生産性が確保できると確信している。

(三製 印刷機械設計部枚葉機設計課 佐藤)
☎ (0848) 67-2640

本社営業窓口 産業機械事業本部産業機械業務部企画課
☎ (03) 212-9049

表1 主要諸元

項目	機種	1F-2	1F-4	1F-5	1F-6	
最高印刷速度 (枚/時)		13 000				
適用紙範囲 (mm)	最大	720×520				
	最小	380×273				
紙厚範囲 (mm)		0.04~0.6				
最大印刷寸法 (mm)		720×510				
版寸法 (mm)		730×600×0.24 又は 0.3				
紙積高 (mm)	排紙	900				
	給紙	900				
主モータ主力 (kW)		15	22	22	37	
	機械寸法 (mm)	全長 L	5 297	7 017	7 877	8 737
		全幅 W	2 515			
		全高 H	1 793			
機械重量 (t)		9	15	18	21	

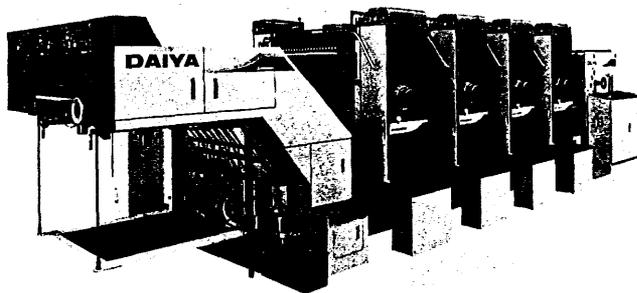
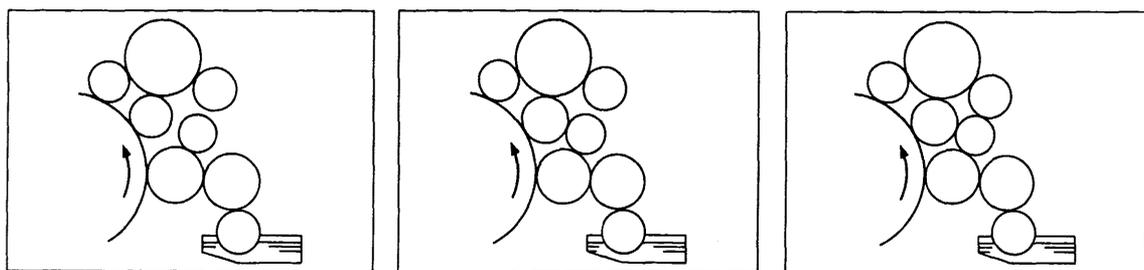


図1 新型菊半裁枚葉印刷機 DAIYA-1 F の外観



種小絵柄を美しく刷り上げる AD 方式

標準的な絵柄をカバーする半 AD 方式

ツヤのあるベタものを刷り上げる ITD 方式

図2 マルチモードダンプニングシステムの各運転モード